

ホルンの歴史や音程がよくなった
右手で音程や音色が変えられるのが
おもしろいと思った
演奏の中の役割とても楽しい話でした
もと聞きたいです。
会場も新しくなり、これからが楽しみです。

昨年と聞きました。ホルンの楽器そのものの歴史
面白く聴きました。スイスでは、今も登山バス、索道
の周り毎にホルンを鳴らして事故のないようにしているのだ
よ。ホスト...もホルンのマックが話しているのだよ話を聞
いて納得しました。

ホルンの音色がよくなりました。
アルプスの山のイメージですね。
暑...暑...夏の午後にはいいですね。
でもお話をちゃんと聞きたいにしたいので残念。
スピーカーが良かったです。
7月のあつめの暑さで、7月は夏休みにして、冬休み
をたかしていいかなと思いた。だから7、8
月はお休みはどうでしょうか。お休みの子さま

ミニXモラム

昨年のプログラムはホプナーの曲が多かったのですが、今年はホルンのために
作られた曲目で聴きごたえがありました。ベートーヴェンをはじめとして
ピアノも良かったです。モーツァルトが作曲した当時の楽器で演奏
された興味深いです。

ホルンって他の楽器より取っつきやすいと発見
どうしてこの楽器を愛したのかという
ホルンも聴いていて録音はいいの野原や
森を連想していろいろかういふとよかったです。
ピアノがよかったです。
いつも親切にありがとうございます。

ホーランドの音が聞きたかったです。

とても面白かったです！「ガスマスク」+「ジュネ」
はホルン 忘れません。楽器の歴史
や構造もよかったです。思えば、ホルン
という言葉は角という単語でした。
ホールの講座の、どうでしょうか...
M. funniccoです。

ポイント
ありがとうございます
ございます

ホルンの吹き出し口が後ろを向いている理由や右手を吹き出し口に入れて
音程を調整する方法、ホールの中の「上吹き」「下吹き」の役割分担の
あたり、はじめて聞く話ばかりで、興味深いです。
演奏も遅れがあり、とても素晴らしいかったです。
今回の会場もとても快適でした。収容人数を増やせると思うので、
来年度は本会場で実施して定員も増やし、運営費に充てていただい
ければいいかなと思います。

ホルンが後ろに背を向けて音を出しているのを見ることができました。
今回も楽しく、そして勉強になりました。
良い会場がありました。来年度は定員も増やせるのでは、
足切りは合った方にも謝罪は？

分かり易く興味深い話でした。モーツァルトのホルン協奏曲は、学童時代に
よく聴いていたので、懐かし！ベートーヴェンの「ホルン」や、
テイルは初めてですが、素敵な曲でした。
新会場も広くて快適に聴けました。やはりクラシックの音がいい
に思っています。

楽器の音は素晴らしい音で、幅広い話を聞かせて
いただきありがとうございます。とてもお話しが楽しい時間
を過ごさせていただきました。

ドイツの曲以外の曲(フランス?)も演奏されました。(サンサーンスの曲)
ドイツの曲は、おふんピアノの演奏が際立っていたように思いました。
サンサーンスの曲を聴くときはピアノは伴奏に伴奏として演奏
され、ホルンは、本来ホルンの演奏として聴く、けれどホルン
には上吹きと下吹きがあり、吹きは「上吹き」の役割
を担っていること、小泉さんは、下吹きの「上吹き」の役割
を担っていること、ドイツのピアノ「上吹き」を演奏してい
たのだと言ったことがお話をよかったです。今は聞いて、ちが
いがないように思っています。最終曲のバガテルは、
ホルンのために書かれた曲という感じがしました。
浅田義治です。

スチールの楽器から下へまで、色々な種類があるんですね。ビックリ
「クタン」です。いいですね。ピアノも良かったです。

次回7月の時のポイントで掲載(後でいいかな)を...
*無難、ホーランドの曲は曲が面白く、楽しんで、楽しんで、楽しんで。
超絶技巧も説明しながら弾いて、聞いて、聞いて、聞いて。
*サンサーンスの、音階の話はとても興味深く、この曲の解説は、この講座の
醍醐味の一つだと思います。
*再来年、サンサーンスの曲で、それぞれの楽器が、どんなことをしているのか、楽しんで
下さるのが、とても楽しみです。
*いつもお話しを聞いていただきありがとうございます。書きアタマも頑張ります。
までです。

XE

♪♪♪